

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会 (第4回)
開 催 日 時	令和6年11月21日(木) 15時00分 開会 16時23分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場庁舎2階 第3会議室
出 席 者 氏 名	村田会長、鹿野委員、漆原委員、信太委員 川添委員、岩本委員、福田委員
欠 席 者 氏 名	伊藤副会長、酒井委員、岩堀委員
事務局職員職氏名	那須総務部長、竹下政策推進課長 政策統計グループ 稲場主査、山口主事
議 題	1 第3期美幌版総合戦略(案)について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	0名
会議資料の名称	資料1 第3期美幌版総合戦略(案)について
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音データを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音データを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田会長	<p>【開会】</p> <p>定刻になりましたので、これより、令和6年度第4回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>本日は、伊藤委員、酒井委員、岩堀委員から欠席の連絡をいただいております。7名での開催となりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議では、第3期美幌版総合戦略（案）の内容であります。「基本目標に対する数値目標」「施策に対する事業」及び「KPIの指標」について協議いただきたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題の1番目「第3期美幌版総合戦略（案）について」であります。</p> <p>基本目標ごとに、事務局が説明のうえ、質疑の時間を設けたいと思います。</p> <p>「基本目標1」について、事務局から説明をお願いします。</p>
稲場主査	<p>【議題1 第3期美幌版総合戦略（案）について】</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>本日、差替え版を配付させていただきましたので、そちらをご覧ください。</p> <p>前回会議では、第3期戦略から新たに追加した「現状と課題」、それに対する「基本的方向性」を箇条書き形式でお示しさせていただき、その方向性に沿った各施策をご説明させていただきました。その内、「現状と課題」と「基本的方向」については、今般、戦略用に文章化し直しております。内容について変更しておりませんので、説明は省略させていただきます。</p> <p>この度の会議では、各基本目標における数値目標の指標、各担当課における施策に沿った事業、各施策におけるKPIの指標を反映させたものを取りまとめましたので、内容についてご説明させていただきます。</p> <p>施策に沿った事業で、第2期戦略から継続して実施している事業は黒字、第3期戦略から新たに追加となった事業及び取り組みは朱書きで記載しております。</p> <p>なお、各基本目標における数値目標、各施策におけるKPIの実績値と目標値については、来月に開催予定の第5回会議でご説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>○基本目標1「地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る」</p> <p>それでは、基本目標1「地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標は人材不足を解消し、地域経済の活性化に取り組むものとなっておりますので、「新規求人数」、「200万円を超える給与収入者数」を数値目標の指標として設定しており、第2期戦略から変更はありません。</p> <p>2ページをお開きください。「施策1 産業における経営の強化・人材の確保」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「基幹産業である農林業を中心に地域資源を見直し、付加価値向上や新商品の開発、更なる産業連携を図り、地</p>

域経済の活性化に取り組むこと。また、地域の雇用と経済を支える町内事業者が行う人材確保活動を支援し、既存産業の強化や成長を促すことで、企業とともに歩む町づくりを推進すること」としておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、第2期戦略から継続して実施している事業に加え、次のページとなりますが、第3期からは新たに町内事業者の人材確保支援に取り組むため、「労働振興推進事業」を追加しております。

なお、施策1におけるKPIは、農業販売高、新規就農者数を設定しております。

次に、「施策2 地域特産品の振興」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で、「既存商品のブラッシュアップを行い、町内外に向けて特産品の魅力を効果的に発信することで、地域経済のさらなる活性化を目指すこと」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、地域特産品の振興を図る事業として、地域特産品開発推進事業と新たに「政策推進事務」を追加しております。こちらは昨年12月に連携協定を締結しました全日本司厨士協会北海道地方本部との連携による地域特産品の改良・開発に向けた企画支援となっております。

なお、施策2におけるKPIは、新規特産品開発数を設定しております。

4ページをお開きください。「施策3 地域資源を活かした観光の推進」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で「観光業においては、女満別空港に近く道東地区の交通の要衝である地理的優位性を活かしながら観光資源を見直し、既存の観光事業の発展や新たな観光事業を展開することで、体験型・滞在型観光を推進するとともに、観光施設へのアクセス向上のための公共交通機関の整備も検討していくこと」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、(2) 滞在型観光の推進では、観光推進事業において、観光施設とつなぐ公共交通機関の整備に取り組みます。また、第2期戦略ではグリーンツーリズムの推進を観光推進事業で取り組んでいましたが、第3期戦略では農村ツーリズム推進事業で取り組みます。

なお、施策3におけるKPIは、観光入込客数、宿泊客数を設定しております。

次に、「施策4 起業支援・企業誘致」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で「訪問者の分析や現状把握を行い、企業誘致や起業希望者にとって有益な情報収集を通じて町の特性をPRし、雇用創出や賑わいのあるまちづくりを進めること」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、次のページの(2)の企業誘致では、新たに統計調査事業で地域力実態状況の調査・分析に取り組むことや、広報推進事業でSNS等による情報発信に取り組みます。

なお、施策4におけるKPIは、起業家件数、企業誘致件数を設定しております。

次に、「施策5 外国人労働者を受け入れる体制づくり」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で「人材確保活動の支援として、地域産業

	<p>を支える外国人労働者が安心して働き暮らせる環境整備やコミュニティの場を提供し、受け入れ体制の構築を図ること」としておりますので、そのことに沿った施策となっております。</p> <p>施策に沿った事業ですが、外国人労働者のコミュニティ形成を行う多文化共生推進事業、企業における受け入れ体制を支援する外国人労働者受入支援事業、外国人介護従事者の受入に対して補助を行う福祉担い手育成推進事業により事業推進をし、外国人労働者を受け入れる体制づくりを進めます。</p> <p>なお、施策5におけるKPIは、外国人労働者受入件数を設定しております。</p> <p>以上、基本目標1についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
村田会長	<p>事務局から「基本目標1」について説明がありました。事前に資料は配付されておりますので、読んだなかで何かご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>私の方からひとつ。この間新聞に出ていましたが、協力隊の運転手の募集は2人でしたか。</p>
竹下政策推進課長	<p>募集は2人で、今回採用されたのは1人です。</p>
村田会長	<p>募集は継続するのですか。</p>
竹下政策推進課長	<p>継続して募集中です。</p>
村田会長	<p>他の事業で、企業から協力隊を採用したいという話がありますか。</p>
竹下政策推進課長	<p>全体的にニーズを確認しているわけではありませんが、人手不足がある中で、公共交通を守るといえるか、公共交通のあり方のひとつとして運転手不足までたどり着いたというシナリオであるため、全体的にどの業種に人が足りなくて、今回は公共交通だというルートではなく、公共交通の方からいったルートとなります。</p> <p>全体的に人材不足があるかと思っておりますので、3ページの具体的な施策として「労働振興推進事業」で町内事業者の人材確保活動への支援があります。具体的なことはまだ決まっておきませんが、この5年間で民間企業の人材確保の支援ができる仕組みを、経済部の方でしっかり検討していきたいと思っております。</p>
村田会長	<p>2ページに「スマート農業の推進」とありますが、ドローンや無人の機械など、美幌町で補助を受けて導入した実績はありますか。</p>
鹿野委員	<p>GPSガイダンスシステムは何百もトラクターに積んでいるので、入っておりますし、ドローンも何十体も入っております。</p>
村田会長	<p>それは、補助金を使って導入しているのですか。</p>
鹿野委員	<p>ドローンはあまり補助を使用していないですが、GPSガイダンスシステムは補助を使ってスマート農業として導入してもらっております。ドローンは資格を取る部分で助成をいただいております。</p>

村田会長	5 ページの外国人労働者の部分ですが、伝書鳩に 2 2 3 人居ると載っていましたが、社会教育課でやっている事業でパンフレットを作成したのは参加して欲しいということで渡しているのでしょうか。
竹下政策推進課長	文化や日本語を学ぶ機会の創出を社会教育課で行っており、その事業でパンフレットを作成したということです。
村田会長	どのくらいの人が参加しているのかわかりますか。
那須総務部長	手元にはありませんが、担当で実績はとっていると思います。
村田会長	このような取り組みを行っていることを知らなかったが、良いことをやっていると었습니다。
鹿野委員	JA の状況でいいますと、毎年日本語の勉強とか、日本文化に触れるということで着物を着せてもらったり、太鼓叩かせてもらったりしています。以前は、日程が決まっていた、参加の可否の確認がありましたが、今回は、希望があれば人数に応じて日程調整可能ですという案内だったため、参加しやすい形でした。
村田会長	企業内のものだけでなく、全体でも参加できるようなものを考えていただけたらと思います。 自分の自治会に外国人の方がいるので、自治会との関わりをどうしたら良いかという悩みがある自治会もあるみたいです。言葉の問題もあるので、自治会入ってくれとはいかないのですが、コミュニケーションをとる良い方法があればなと思っております。 今度の町長との懇談会の議題にさせていただきたいと思います。
鹿野委員	施策 5 「外国人労働者を受け入れる体制づくり」の関係で、商工観光課の外国人労働者受入支援事業があり、さらに保健福祉課の外国人介護従事者受入に対する補助がありますが、それだけ介護の方に手厚い支援が必要ということでしょうか。
竹下政策推進課長	商工観光課の外国人労働者受入支援事業は具体的なものは決まっておりますが、5 年間の中で事業を打ち出していきます。保健福祉課の外国人介護従事者受入に対する補助については、介護従事者の受け入れが逼迫しているという現状がございます、早ければ来年度から事業を展開していきたいということもあるので、具体的にこういったことを記載できたということです。 商工業や農業を含めた経済活動の方が後回しという意味ではなく、具体的にどういった支援ができるかということが煮詰まっていないというところでございます。
村田会長	観光の推進が中心になると思いますが、PR 活動において、選挙を見ても SNS の力はすごいなと改めて感じます。良い方向にも悪い方向にも力があると思いますので、美幌町も力をいれていくべきだと感じました。特に若い人には響くのだなと思いました。 次に進めたいと思います。 次に、基本目標 2 について、事務局から説明をお願いします。

<p>稲場主査</p>	<p>○基本目標2「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」</p> <p>6ページをお開きください。基本目標2「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、本町の魅力を情報発信し、UIJターンの強力推進を行うものとなっておりますので、「転出入の差」を数値目標の指標として設定しております。第2期戦略では「20代～40代の転出入の差」を数値目標としておりましたが、年代を問わない数値目標に変更しております。</p> <p>次に、「施策1 若者人口の増加」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「雇用創出と若者の定着を図るために、大学との地域間交流を促進し、学生に地域や企業を知ってもらう施策や、若者のニーズに応じた助成制度を検討していくこと」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。</p> <p>次のページをご覧ください。施策に沿った事業ですが、(1)大学との連携として、教育振興事務で大学と地域間の交流促進、産学官連携推進事業で北見工業大学と地元企業の連携促進、スポーツ団体育成助成事業で大学のスポーツ合宿誘致による地域間の交流促進に取り組みます。</p> <p>(2)若者支援では、商工業推進事務で若者の就業促進に向けた調査・分析、労働振興推進事業で若者の就労支援に新たに取り組みます。</p> <p>なお、施策1におけるKPIは、20代から40代の転出入者の差を設定しております。</p> <p>次に、「施策2 移住・定住促進による転入数増加（Iターン・Jターン）」、8ページに記載の「施策3 Uターン数の増加」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「町外からの通勤者や進学・就職を理由に転出した若者に対しては、結婚や出産を機に美幌町に戻ってくるという選択肢を与えられるよう、情報発信を強化し、町に住むことの魅力を伝える環境づくりに努めることや、将来的な移住に繋がる「関係人口」の創出・拡大を目指すこと、移住定住者の金銭的負担を軽減する補助等を検討し、本町への移住者を増やすことを目指す」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。</p> <p>施策2と施策3に沿った事業は、それぞれ同様の内容のものが多く、第2期戦略から継続した取り組みが多いですが、第3期戦略の策定のポイントとしてUIJターンの強力推進としておりましたので、移住・定住とUターンに分けて取り組みます。</p> <p>なお、施策2におけるKPIは、移住相談件数、事業を通じた移住件数、体験移住施設の利用件数を設定し、施策3におけるKPIは、事業を通じたUターン件数を設定しております。</p> <p>次に「施策4 SNS等を活用した魅力発信」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で「SNSを通じて美幌町の暮らしやすさや魅力を効果的に発信し、知名度を向上させること、美幌高校の魅力を広くアピールし、道内外からの生徒募集を推進することで、人口減少の抑制に取り組む」としてしておりますので、それに沿った施策となっております。</p> <p>施策に沿った事業ですが、(1)町の魅力発信として、広報推進事業ではSNS等による情報発信に取り組むことや、移住定住情報サイトである「びほろ暮らし」と連動したSNSでも情報発信に取り組みます。</p> <p>また、(2)美幌高校の魅力発信では、「美幌高校の魅力発信」という事業を新たに追加して取り組みます。</p>
-------------	---

	<p>なお、施策4におけるKPIは、ホームページアクセス件数を設定しております。</p> <p>以上、基本目標2についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
村田会長	<p>事務局から「基本目標2」について説明がありましたが、何かご意見・ご質問等ございませんか。</p>
福田委員	<p>施策4「SNS等を活用した魅力発信」について、SNSは今色々なものが生まれてきていると思います。Facebookや旧Twitter、Instagramであったり、最近Threadsというものが登場しておりますがご存知でしょうか。</p> <p>ThreadsはInstagramと連動して流れてきます。私はInstagramを情報収集で活用しておりますが、Threadsは、誰かが悩みを投げかけて、不特定多数の人が回答するという使い方をしている人も多いです。前日Threadsで「北海道で移住を考えているが、どこがおすすぬか」というような投稿がありました。アルゴリズムが分からなくて、自分が見ているから多く目にするという可能性もありますが、日本にいるどなたかが投げかけた問に対して、たくさんの人からの回答があります。</p> <p>例えば、東川町がおしゃれですとか、十勝のどこどこが子供の施設が充実しておすすぬかですとあったのですが、辿っていくと美幌町おすすぬかですという回答が流れてきました。文章もきっちりしていたので、辿ってみると、名前が記載してあり、回答者は役場の方でした。これは、役場で投げかけをしているのか、個人でしているのかはわからなかったのですが、そういった情報が何かのきっかけになることもあると思っています。</p> <p>市町村のHPや移住ポータルサイトは良い事しか書いていないので、住んでいる人のリアルな声を聞きたくて投稿しますという方が多いのかなと思っています。こういったことが何かのきっかけになるのではと思っています。兵庫県知事選がSNSの力で思いもよらぬ方向にいったということもあったので、そういう時代になっていると感じました。</p> <p>Threadsは歯に衣着せぬ意見が出てくるので、役場の若い方等が見てみると良いのではと思いました。</p>
竹下政策推進課長	<p>今お話伺って思ったのですが、基本的方向や施策に入れるかは別として、まさにおっしゃるとおりで、日進月歩色々なSNSがこれからの5年間でもたくさん出てくると思います。また、ターゲットが若い層なのかどうかによっても違うと思いますし、歯に衣着せぬ意見を拾えるということもありますので、発信とともに、効果的なSNSの現状を分析できるようなことは真剣に考えたいと思います。施策4の説明に記載するかどうか等検討しますので、少し考えさせてください。記載するからにはやるということなので、実際にそういう取組もとても必要なことだと思いますので考えてみたいと思います。ありがとうございます。</p>
福田委員	<p>ThreadsはInstagramを見ていると勝手に流れてくるので、そっちを見ようかなという気になります。どこの誰だかわからないですが、閲覧回数何万もあり、それは怖さもあると思いますが、可能性もあるのかなと思います。</p>
那須総務部長	<p>SNSは本名で投稿できるものとそうでないものがあります。一方的に書き込んで終わりというものもあり、言われればなしで終わってしまうことがあるので、その取り扱いが難しい部分なのかなと思います。</p>

村田会長	専属で誰かを置くとかも。
那須総務部長	そういったことも必要なのかもしれませんが。
福田委員	北見市で北見メンサという男性2人くらいで発信するというものが生まれましたね。
稲場主査	北見工大の生徒さんなのですね。
岩本委員	資料の見方のことについてですが、各事業の中にある（再掲）の取扱いについて教えてください。
竹下政策推進課長	わかりづらくて申し訳ございません。基本目標ごとに施策・事業を並べておりますが、他の施策にも記載がある事業について（再掲）という形で表示しております。
村田会長	美幌高校の魅力発信という項目がありますので、先生の方から何かございませんでしょうか。
川添委員	<p>今年 Instagram と HP をリニューアルしました。先日見学旅行に行ってきましたが、その場から更新してリアルタイムで状況を確認できるようにしています。先生方の協力があり実現できておりますが、ホットなものをアップするようにしています。例えば、特徴的な学習内容といったものはなるべく1日1回は更新したいと思っております。フォローしてくれている方もたくさんおりますが、是非見ていただけたらと思っております。Instagram も HP も1週間に1回は必ず更新しております。更新するのは手間になるので、なるべく労力を割かないように、文章も2～3行で誰でも読みやすいような形で、写真2枚等の簡単なルールを決めて、普段の授業の様子でも良いので、とにかく写真を撮ってもらって、HP や Instagram に掲載していきましょうとしております。それで興味関心あるこれからの生徒さんに繋がっていけば、生徒募集の観点からも需要があるのかなと思っております。</p> <p>私が4月に来てからここは力を入れてやっていますが、最初先生方は抵抗あるというか、担当の人がやることではないかという声もありましたが、普段の授業の写真撮ってもらって、授業の目的等を一文つけて投稿してもらおうと。HP を更新する人は係が決まっていますが、普段の授業時間が大事なので、全員で生徒募集をやっていきたいと思いますという体制にしております。SNS を見て欲しいので、中学校訪問とかで Instagram や HP やっていますというビラを配っています。</p> <p>また、道外から来ている生徒さんもいらっしゃるの、親御さんがリアルタイムで見られるようにやらせてもらっております。引き続きやっていけたらと思っております。</p>
福田委員	<p>3種類、美幌高校と農業科と生徒会をフォローしました。そしたら結構な頻度で更新されていて、単純接触効果というか、それだけでも親しみがわきますし、同じ町に住んでいてもどんな教室で何をやっているのかが全くわからないので、すごく良い取り組みだと思っておりました。</p> <p>Instagram は係の先生を決めないで運用しているのですか。</p>
川添委員	その授業の先生が、授業の様子を2枚くらい写真撮ってもらっていま

	<p>す。普段の授業もそうですが、講師の先生を招いて出前授業をやったりするときには、目的や意義を2～3行付けて、感想と写真2～3枚をあげていこうという。それだけでもだいぶ違うのかなと思うので、みんなでやってみましょうということです。InstagramとHPにあげる担当はありますが、取り組んでいる様子を撮るのは先生方です。色々な人に見てもらっているので、先生方も志だとか生徒にこういう授業していますというような発信をするという意味もあります。先生方のモチベーションにも繋がるのかなと思っております。写っている生徒の様子がいきいきとしていたら伝わると思うので、そういったことは意識してやらせてもらっております。</p>
福田委員	<p>修学旅行まであんなに沢山あがってくるとは思わなかったです。</p>
川添委員	<p>引率団と学校待機側の先生でグループLINEを作って、そのLINEに写真をあげたら良い写真を抽出して、担当の先生があげていくようにしました。行っている先生はそれどころではないので、そういう役割分担をしました。</p> <p>4月初めは言ってもなかなかイメージが付かないので、動き出しに時間がかかったのですが、やってみたらそんなにストレスなくできました。</p> <p>若い先生中心にいくので、苦手な先生でも、若い先生に写真撮ってきてとお願いして、ベテランの先生が文章を作ってという役割分担をして、ホットな情報をあげていくようにしております。</p> <p>ただ、Instagramだと生徒の顔がアップになるので、名前と顔が特定されないように、色々な先生目でチェックしております。こういう時代なので、この子の名前はなんとかさんなんだと特定されてしまうと、そこを狙った悪質なことをされるリスクがあるので、そういったことが無いように、必ず私が目を通していきます。</p> <p>また、生徒からもちょっとこれはアップ過ぎるという声があったりするので、そういう情報もちゃんと聞いて、なるべく引き目でとか、後ろから撮ったりとかをしております。生徒もSNSにあがっているということを解っているので、生徒からの写真の変更要望等の声は聞きながら、一方通行という形にはしないようにしております。入学の時に生徒から肖像権の関係の署名はいただいておりますので、その部分は心配いらないと思います。</p> <p>生徒と先生がコミュニケーションをとって、学校のためにやっているということはわかっているので、とにかく一方通行にならないように気を付けております。</p>
村田会長	<p>次に「基本目標3」について、事務局から説明をお願いします。</p>
稲場主査	<p>○基本目標3「このまちで出会い結婚し、子どもを産み育てたいという希望をかなえる」</p> <p>続きまして、基本目標3「このまちで出会い結婚し、子どもを産み育てたいという希望をかなえる」についてです。10ページをお開きください。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、出会いから結婚までのサポートや子育て環境、教育環境の整備・支援を行うものとなっておりますので、「合計特殊出生率」を数値目標の指標として設定しており、第2期戦略から変更はありません。</p> <p>次のページをご覧ください。「施策1 結婚、出産、子育て支援（高校生まで）」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「結婚を望む男女の希望を叶えるため</p>

交流の機会を周知し、出会いから結婚までのサポートを行うこと。また、安心して子どもを産み育てられるよう妊娠期から子育てまでの金銭面や精神面での、負担や不安を軽減させるような切れ目のない支援を推進すること」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、(1) 出会いから結婚支援として、新たに各関係機関との連携による支援を行う商工業振興事業、結婚新生活支援事業を追加しております。

(2) 出産支援、(3) 子育て支援は第2期戦略から継続した取り組みが多くなっておりますが、12ページに記載しております小中学校給食費支援事業では、第1・第2子の小中学校の給食費補助の取り組みを追加しております。

なお、施策1におけるKPIは、婚姻届出数、出生数を設定しております。

次に、「施策2 働きやすい職場環境の整備」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で、「すべての働く方々が、働きながらも子育てしやすい環境づくりを整備するため、企業や事業者、従業員へ各種休暇や制度の活用を促進させるための意識啓発を行い、希望通りに働き続けられる柔軟な働き方を推進し子育てしやすい環境を整備していくこと」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、意識啓発として、町内事業者への意識啓発や女性の活躍推進に取り組む企業や従業員等のロールモデルの発信、雇用等における女性の活躍推進の取り組みを商工業振興事業において取り組むため新規追加しております。

なお、施策2におけるKPIは、就業率を設定しております。

次に、「施策3 子どもがのびのびと遊び過ごせる環境の整備」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で、「子どもたちが元気いっぱい、のびのびと遊び過ごせる町となるよう、環境の整備を行う」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

次のページをご覧ください。施策に沿った事業ですが、環境整備として、都市公園の維持管理を行う公園整備事業や小中一貫教育推進事業を新規追加しております。

なお、施策3におけるKPIは、都市公園の面積を設定しております。

次に、「施策4 教育環境の充実」についてです。

こちらの施策は、基本的方向で「少子化に伴い各学校のクラス数が減少し、授業等によるグループの学び合いや切磋琢磨する機会が減るほか、学校行事では一定規模の集団形成の維持が難しくなっているため、施設一体型の学校による小中一貫教育を推進し、小中学校9年間を見通した切れ目のない教育の推進と質の高い持続可能な教育環境を確保する」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。

施策に沿った事業ですが、(1) 学力向上に向けた取組として、第2期戦略から継続した取り組みに加え、小中一貫教育推進事業を新規追加しております。

(2) 総合教育の充実では、少年教育推進事業にて新たにキャリア教育の取り組みを追加したほか、部活動の地域移行を進める部活動地域移行推進事業を新規追加しております。

14ページをお開きください。(3) 美幌高校の充実では、道内外入学者の受入環境整備の取り組みを追加しております。

なお、施策4におけるKPIは、学力調査の全国平均との差（小中学

	<p>生)、美幌高校入学者数を設定しております。</p> <p>以上、基本目標3についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
村田会長	<p>事務局から「基本目標3」について説明がありましたが、何かご意見・ご質問等ございませんか。</p>
竹下政策推進課長	<p>11ページ施策1(1)の商工業振興事業について、なぜこの施策にこの事業が入るのか、もう一度ご説明をお願いします。</p>
村田会長	<p>13ページ施策4(2)の国営造成施設管理体制整備促進事業は、田んぼの学校のことを言っているのですか。</p>
竹下政策推進課長	<p>はい。田んぼの学校で食育事業を実施しており、そのことを指しております。</p>
村田会長	<p>13ページ施策3(1)の公園整備事業について、最近の公園はボールが使えないところとかがあるものですから、例えばスケートボードをやる公園だったり、ボール競技ができる公園だったり、特徴ある公園整備を考えていただきたいです。同じような遊具がたくさんある公園も、小さい子供にとっては良いのかもしれませんが、小学生くらいになると物足りなくなるのかなと思います。補助の関係で難しいのかもしれませんが。</p>
那須総務部長	<p>公園を作るときは補助が出るので、お金かけて立派な公園を作ることが出来ますが、遊具が古くなり更新する際に、補助が当たらず単費となってしまうと、遊具にあまりお金がかけられなくなってしまいます。</p> <p>できればそれを一カ所にまとめて、遊具がある公園やボールが使える公園など、特色あるような公園を計画策定して実施していくことも必要だと思っております。建設部が担当しておりますので、そういった意見があったことをお伝えしたいと思っております。</p>
福田委員	<p>新しい遊具に更新されている公園と、ずっと古い遊具のままの公園がありますが、その順番はどのように決められているのでしょうか。</p>
那須総務部長	<p>毎年遊具の点検をして危険度を出しております。ABCDで判定しますが、Dになるとテープはって使えないようにします。危険度等を勘案して、予算の範囲内でできるところから更新している状況です。</p> <p>今年も判定結果が建設部から上がってきて、町内を見て回りましたが、Dとなっているところは危険なところもあるので、そういったところは使用できないように閉鎖しており、来年度予算を付けるかどうかという計画を立てているところです。</p>
福田委員	<p>昔の遊具から素材も変わってきていますよね。</p>
那須総務部長	<p>安全性からか、鉄ではなくプラスチックみたいな遊具になっていますね。</p>

福田委員	昔の遊具なりの良さはあったかなと思います。
村田会長	昔は怪我したら遊び方が悪いからということになりましたが、今は管理責任になってしまいますからね。
那須総務部長	昔は東町公園に高い遊具があって落ちたら危ないなと思っておりましたが、今は小さくなっていて。そういった意味ではスリルは減ってしまっているのかもしれないですね。
福田委員	公園大好きな子ども達を育てているので、美幌町内の色々な公園に行っているのですが、美園団地の中にある美園公園がまだ残っていて、昔美園にも保育所があって、そこはもう閉鎖されておりますが、公園内には山もあるし、広場もあるし、遊具もあって、その遊具が結構錆びているのですが、少しスリルがあって楽しいので時々行っております。全て更新するのではなく、錆びが気になって滑り台を滑れないとかがあるので、塗り替える等の手直しだけでも良いのでしていただくと、あまり人が来ていない公園でも、お母さんたちが車を持っているので、駐車場があれば遊べる場所が増えるのではないかなと思います。
村田会長	道立公園みたいなところを誘致するのは難しいのでしょうか。
那須総務部長	網走、紋別、中標津にもあって羨ましいなと思います。
鹿野委員	13ページ施策4(2)の部活動地域移行推進事業について、地域移行なので、部活動だけではなくてクラブチーム化して、バスケットは北見でチーム作ってそちらに統合みたいなきょうが出てくると思います。そうなるとうち自治体の垣根から外れてきたりする部分がありますが、町の連盟に入っていなかったら対象にしないというような話になってくるのでしょうか。
竹下政策推進課長	今までも、少年団等は会費で運営しているところですが、部活動の地域移行となってくると、経費はそれなりにかかってくるので、金銭面の補助等の応援体制は現在検討しているところだと思います。 また、北見市、津別、訓子府、置戸の1市4町で定住自立圏の会議がございますが、そこでも部活動の地域移行のお話が出てきます。しかし、それぞれの市町で考えていることが全然違っていたりします。北見市は市から手を放し地域に任せますという考えだが、美幌町はなるべく地域でというところがあり、温度差がある状況です。 将来的にはそういった話になっていくかもしれませんが、今段階ではなるべく地域でできないかということを教育委員会として模索しているところだと思います。
那須総務部長	できるところから移行を始めていき、将来的には全て地域移行するとうことを国が言っているのですが、なかなか進んでいないのが現状です。国も地域に移行しなさいと言うだけで、金銭面での支援は全く見えていなくて、先生方の働き方改革のために地域に移行し、地域は大変になってしまうと、地域は疑問を持ってしまう、ということがネックになっていると思います。国が当初言っていた期限が何年か伸びたと聞いておまして、小さな町になればなるほど、その町単独で地域で見ることができるとい疑問もあり、一気に移行することは難しいのではないかなと思います。 町村を超えての取組みを行うことも今後出てくる場合もあろうかと思いますが、今現在はなかなか進んでいない状況です。

<p>村田会長</p>	<p>町として金銭的な助成というのは出てくると思っていて、お金を下さずに地域でやってくださいというのは、地域も受けてくれないだろうと思っております。</p> <p>次に「基本目標4」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>稲場主査</p>	<p>○基本目標4「住み続けたいと思える生活環境を整える」</p> <p>15ページをお開きください。基本目標4「住み続けたいと思える生活環境を整える」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、住民にとって住み続けたいと思える生活環境の整備に取り組むこととしておりますので、「人口」を数値目標の指標として設定しております。第2期戦略では、「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合も指標として設定していましたが、4年に一回のアンケート調査による実績の確認となっており、毎年度状況を確認することが困難であるため、「人口」のみを指標とすることに変更しました。</p> <p>16ページをお開きください。「施策1 町民が活躍できる環境の整備・健康に暮らし続けられる地域づくり」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「町民同士のつながりを強め、互いのスキルを活かして活躍できる環境の整備を行い、地域の活力向上を促すこと。また、健康づくりを推進し、生きがいと喜びを感じ、健康に暮らし続けられる地域づくりを進めること」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。</p> <p>施策に沿った事業ですが、(1) 町民が活躍できる環境の整備として、2期戦略にも掲載していた事業を整理して掲載したほか、WorkingSpace KITENを通じたイベント開催支援の取り組みを新規追加しております。</p> <p>(2) 健康に暮らし続ける地域づくりについては、メタボ予防のための体格指数啓発を行う健康教育相談事業、生活習慣病重症化予防やフレイル予防の推進をする一般介護予防事業、健康診査実施事業を新規追加しております。</p> <p>なお、施策1におけるKPIは、WorkingSpace KITENでのイベント開催数、特定健診受診率を設定しております。</p> <p>次に、「施策2 女性が輝く社会づくり」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「働き続けたい又はこれから働きたいというすべての女性が活躍できる社会を形成していくために、女性の活躍推進に取り組む企業等のロールモデルを発信することなどによって、女性が輝く社会づくりを推進する」としてしておりますので、そのことに沿った施策となっております。</p> <p>施策に沿った事業ですが、女性が輝く社会づくりとして、次のページにもまたがりますが、女性の活躍推進に取り組む企業や従業員等のロールモデルの発信、雇用等における女性の活躍推進、女性の再就職支援に取り組む商工業振興事業を新規追加、女性の創業支援に取り組む起業家支援事業を掲載しております。</p> <p>なお、施策2におけるKPIは、女性就業率を設定しております。</p> <p>次に、「施策3 デジタルを活用した便利なまちづくり」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「町民の利便性を向上させるため「デジタル技術」を活用すること」としてしておりますので、そのことに沿った施</p>

	<p>策となっております。</p> <p>施策に沿った事業ですが、デジタルの活用として、町民に向けた講習会等の開催を行う情報学習等推進事業、町内のデジタル化を推進するDX推進事業を新規追加しております。</p> <p>なお、施策3におけるKPIは、デジタル化した行政サービス数を設定しております。</p> <p>最後に、「施策4 住環境の整備」についてです。</p> <p>こちらの施策は、基本的方向で、「住民にとって住みよい町となること」としておりますので、そのことに沿った施策となっており、施策に沿った事業、(1)住環境の整備、(2)地域住民と連携した防災体制の充実は、第2期戦略から継続した取り組みとなっております。</p> <p>なお、施策4におけるKPIは、空き家棟数、自主防災組織の結成率を設定しております。</p> <p>以上、基本目標4についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局から「基本目標4」について説明がありましたが、何かご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>17ページ施策4に自治会との連携について入れていただきたい。今年自治会が解散する事態になってしまったので、行政が関わっていかないと地域が持たなくなってくるのではと思います。高齢化してきて70歳くらいまで働いているのでなかなか自治会の役員もできないし、民生委員もないという状況になってきているので、少し手を入れて行かないといけなかなと思います。自治会が解散してもいいのかとなってくると、他の自治会も解散する動きが出てくる気がします。自治会があればそこで色々な事業もできますし、住民の見守りもできますので、そこに少し力を入れていただきたいと思います。</p> <p>信太委員</p> <p>基本目標4のことではなく全体的話になってしまいましたが、この戦略の中には自然に対する事業が無いのですが、われわれ観光業にとって施策3の観光の推進というところはこれで良いと思いますが、10月に屈斜路カルデラトレイルが完成し、美幌町だけではなく大空町・津別町と整備してきて、来年からこれを活かした取組を行っていく中で、ここでいうアドベンチャーツーリズムの推進というのが入ってきているのですが、これに付随したところで観光業界の中では、「シビックプライドの醸成」(郷土愛)が大切だと言っております。</p> <p>美幌町で生まれ育った中で、国立公園が我が町にあるという認識が少し薄い気がします。国立公園が無い市町村からすると、国立公園があるというのはものすごく良いアドバンテージとなり、すごく羨ましがられる。今まで美幌峠は何もしなくても70~80万人の観光客が通過していたところに、体験できる道ができることによって、人が来てほしいと思っております。</p> <p>何が言いたいかというと、地元の子供たちが、美幌町にこれだけ素晴らしい原始林を歩ける体験・文化があるということ、郷土の誇りとして、強制的に植え付けるのではなく、体験してもらい機会があれば良いなと思います。それをどの施策に入れたら良いのかを考えていたのですが、13ページ施策4の総合教育の充実で自然を通じた各種事業があるので、ここに入るのかなというのがあるのですが、小中高生に我々や行政の方が働き</p>
--	--

	<p>かけるのも大事じゃないかなと思います。</p> <p>私は美幌高校卒業なのですが、入学してすぐ研修旅行というのがあり、羅臼岳に強制的に登りました。ものすごくつらかったのですが、他町ですが国立公園のインパクトは強く残っておりますし、同級生の中でも、あそこ良く歩けたなという話になります。あそこまでいなくても、屈斜路カルデラトレイルというのはピーク登山ではなく尾根を縦走するという比較的ハードルの低い体力でいけるし、いつも見ている美幌峠とは違う景色を見ることが出来ます。11月11日にオープンイベントを行いました、5歳児でも4キロくらい歩けましたし、下りのルート等色々なルートを選べますので、そこを美幌町のアドバンテージとして活用できるような施策を入れたらいいのではないかと思います。</p>
竹下政策推進課長	<p>意見交換をしたいのですが、子ども達に観光面からのシビックプライドの醸成をしようとしたときに、テキストとか基になるものはどんなものがありますでしょうか。例えば、観光物産協会の皆さんがプログラムを組んでいただけたらとか、こういった手法が考えられますか。</p>
信太委員	<p>美幌峠というのは、カルデラという特殊な地形が生み出していて、そこを長年研究しているのが美幌博物館です。美幌博物館はカルデラトレイルに以前から協力的で、開通後プログラムを作るという計画もしているの、この日にそういう体験できる日があるよという情報が来年以降博物館から出てくると思います。学校単位でも博物館の学芸員に同行いただくとか、美幌町にガイドが2人いて、津別町にも1人いるのでガイドに同行いただくとか。津別町にはまちの幼稚園というのがあるので、そういう体験をしているので、ガイドを活用すれば、地域学・自然学など小中高のレベルにあわせた学習できると思っています。</p> <p>我々は教育旅行として他町から人を引っ張ってくるというのを考えていて、かなり食いつきが良いというのがわかってきましたが、受け入れ態勢が整っていないという課題があり、これから取り組んでいかないといけない。ツールとしては、博物館やガイド、観光協会では私もできるので、活用していただければと思います。</p>
竹下政策推進課長	<p>ありがとうございます。そういった角度でいうと事業化できそうだと思います。</p>
鹿野委員	<p>体験を呼び込むという意味では、4ページ施策3(2)の農村ツーリズム推進事業をみらい農業センターさんがやっておりますが、私もたまにボランティアでお手伝いをするのですが、お手伝いレベルで手伝うのは私共も実務をやりながらで限界があるため、そういう部分を含めて、人を呼び込むということから言えば、体制を考えてやっていかないと事業化は難しいのかなと思います。その辺りも含めて人を呼び込む体制を考えていただければと思います。</p>
村田会長	<p>全体を通してでも良いですが、皆さんから何かありませんか。</p>
岩本委員	<p>9ページ施策4「SNS等を活用した魅力発信」の指標がホームページアクセス件数となっておりますが、このホームページとは町のホームページを指しているのでしょうか。</p>
竹下政策推進課長	<p>町のホームページを想定しております。指標は並べればいくらかでも並べられるという中で、これを指標として置いているのは、SNSを最初に見て</p>

	<p>いただき、そこで興味を持った方が詳しく情報が載っているホームページまで見に来てくれるという流れができればと思っておりますので、この施策に対する1つの指標として、町のホームページとさせていただいたということになります。</p>
川添委員	<p>高校のホームページの閲覧数とか、アクセス数は調べられます。</p>
竹下政策推進課長	<p>同じ9ページで言うと、施策3のKPIの事業を通じたUターン件数もそうなのですが、指標を並べようと思えばまだまだ色々な指標を並べられると思いますが、代表例というか、今どのくらいの成果があるのかという目安として設定しております。基本目標における目標は、数値目標となりますので、KPIはそこを目指すためのそれぞれの施策の仮置き目標となります。アウトカムではなくアウトプット指標が並んでいるのもそれが理由だったりしますので、並べればたくさん並べられますが、代表した1つを設定しているということでご理解いただければと思います。</p>
村田委員	<p>17ページ施策3のKPIのデジタル化した行政サービス数というののもどこまでのサービスをここに含めるかというのもあると思います。</p>
竹下政策推進課長	<p>1つの目安として設定しているのご理解いただければと思います。</p>
福田委員	<p>16ページ施策2の女性が輝く社会づくりについて、女性が輝くと言われると、くすぐったいというか、言葉が重いというか、他に良い言い回しが無いのかなとか、この言葉を作ったのは男性なのか、女性のかなとかを少し考えてしまいました。男性が輝く社会づくりとは載らないと思いますので、違和感を感じてしまいました。代替案みたいなものは考えつかないのですが、役場で働く女性の方達はたくさんいて、ワーキングマザーとして活躍されている女性はたくさんいらっしゃるの、こういう言い方で良いのかなというのが疑問に思いました。</p>
竹下政策推進課長	<p>おっしゃるとおりだと思いましたので、修正させてください。私もすぐに代替案は出ないのですが、検討させてください。おっしゃりたいことは伝わりましたし、おっしゃるとおりだと思います。もしかしたら差別的な表現と捉えかねないとも思いますので、決してそういう意図で記載したわけではございませんが、そう捉えられるのは本意ではありませんので、少し検討させてください。</p>
村田会長	<p>他にご意見等ありませんか。</p>
一同	<p>(なし)</p>
村田会長	<p>事務局より事務連絡をお願いします。</p>
那須総務部長	<p>自衛隊を応援する町の事務局がありまして、今回「陸上自衛隊美幌駐屯地隊員限定独身者交流パーティー」という企画を急遽、お試して開催してみようかなということで、町で企画したものととなります。</p> <p>意図としては、駐屯地の方は宿舎に居て女性と出会う機会がないという相談を受けまして、町としても事務局があるので、このような企画をしました。この事業を通して美幌町の女性とお知り合いになって、結婚して転勤してしまうと美幌から若い女性が居なくなってしまう事業にもなってしまいかもかもしれませんが、定年した後に、美幌に戻って来てくれたらいいな</p>

<p>稲場主査</p>	<p>というのを考えて、企画したものとなります。12月20日に開催予定でして、既にSNS（Facebook等）では投稿しているのですが、今日ポスターが出来上がり、これから町中にポスターが並ぶこととなりますので、もし宣伝する機会がありましたら、皆さまからご紹介いただければと思います。</p> <p>もう1つ事務連絡がございます。 次回の会議開催は12月中旬を予定しております。 日程調整については、今月末ごろに文書を郵送いたしますので、ご回答いただければと思います。 第5回会議の内容については、この度の会議でお示しした資料1に、本会議でいただいた皆様の意見を加えるほか、各基本目標における数値目標の目標値、各施策におけるKPIの実績値と目標値を反映させた美幌版総合戦略（案）を皆様にご確認いただき、人口ビジョン・美幌版総合戦略からなる第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）を完成させたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>村田会長</p>	<p>以上で本日予定されている会議の内容について全て終了しました。 皆さま、お疲れ様でした。</p> <p>【閉会】</p>